

岐阜県内の義務教育段階の子どもが通う民間施設・団体 (フリースクール等)に関する調査結果

(令和7年1月末現在)

【調査結果の内容】

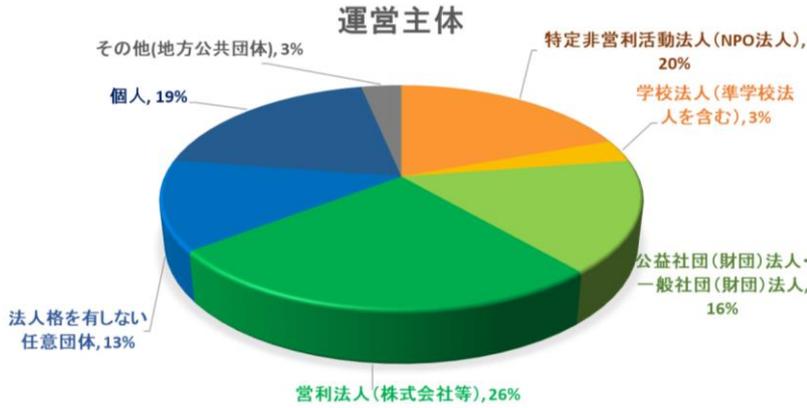
- ・岐阜県内の義務教育段階の子どもが通う民間施設・団体のうち、市町村教育委員会等から情報提供のあった54施設・団体(県内39か所、県外15か所)を対象として調査を依頼、回答を得た31施設・団体(県内27か所、県外4か所)の状況を取りまとめたものです。
- ・岐阜県内の義務教育段階の子どもが通っていても、令和7年2月7日時点で把握できなかった(アンケートを送付できなかった)、あるいは回答が得られなかった民間施設・団体については調査結果に含まれていません。

岐阜県教育委員会

1. 施設・団体の運営主体・類型等について

(1) 施設・団体の形態

- 法人格を有する施設・団体が6割を超え、令和5年度調査（令和6年1月）と比較して営利法人（株式会社等）の新規参入も見られる。



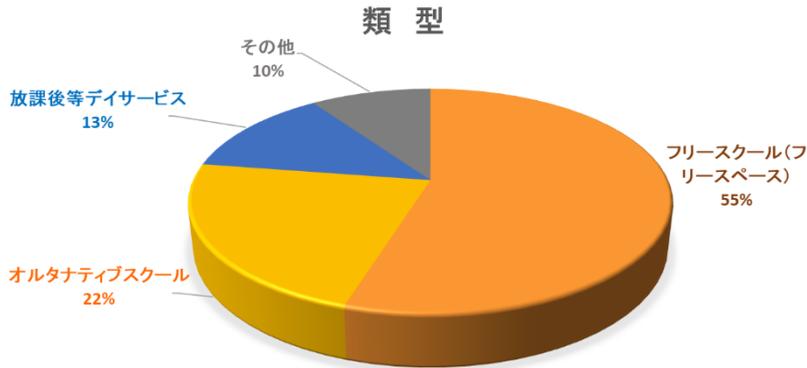
(2) 設置時期

- 2010年以降に設置された施設・団体が9割を超えている。
- 設立2年以内の施設・団体が10施設を超える。

設置時期	施設・団体数
1999年以前	0
2000～2009年	1
2010～2019年	10
2020年以降	20

(3) 施設・団体の類型

- 施設・団体は様々な特徴をもっており、呼称も多様である。



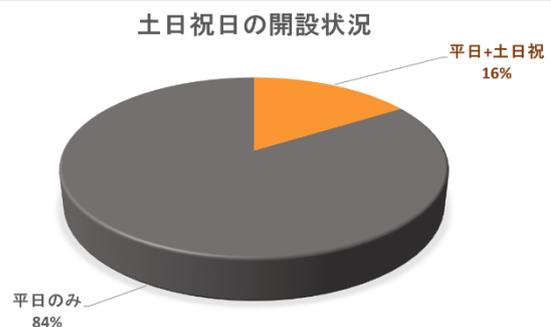
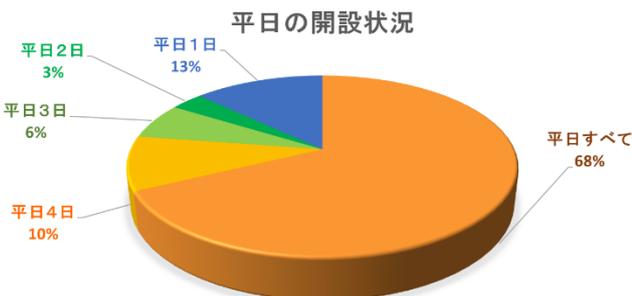
※呼称について文部科学省による明確な定義はなされていないが、本調査では、次のとおり表記した。

- 「フリースクール」
…主として不登校児童生徒を受入れることを目的としている。
- 「オルタナティブスクール」
…主として主体性や自発性を支援し体験活動を中核としている。

(4) 開設日数

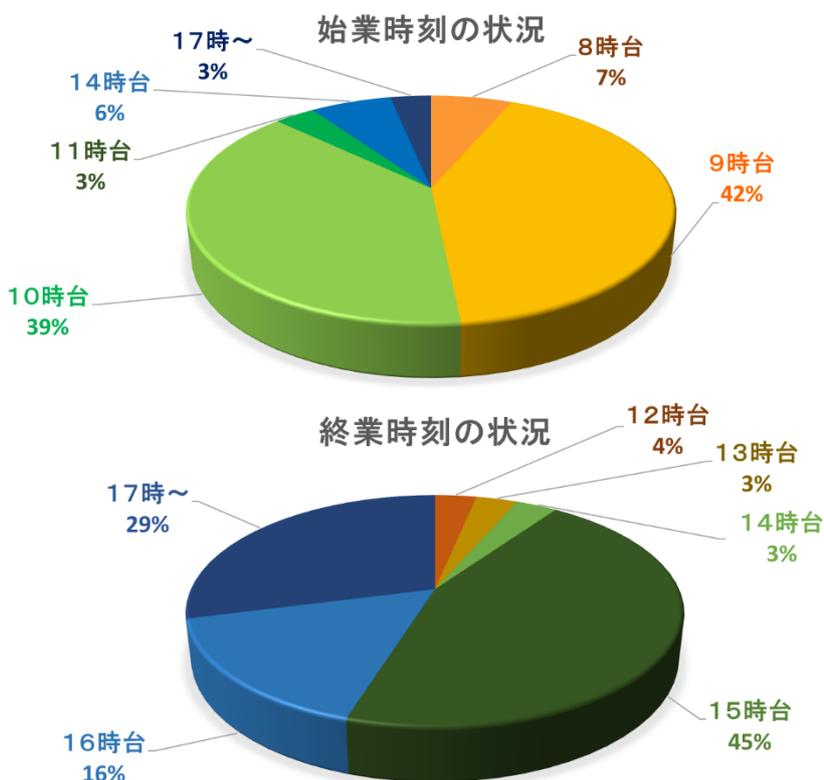
- 平日の週当たりの開設日数は、5日が最も多く、令和5年度調査と比較して増加している。平日昼間の子どもの居場所となっている。
- 一方で、土・日曜日や祝日の受け入れを行っている施設・団体は減っている。

平日(月～金)の開設日数 …施設・団体数	休日(土・日)の開設日数 …施設・団体数
1日 … 4	土曜日 … 5
2日 … 1	日曜日 … 0
3日 … 2	祝日 … 0
4日 … 3	土曜のみ開設 … 0
5日 … 21	平日と土曜開設 … 5



(5) 開設時間

・午前9時～10時台に始業し、午後3時～4時台に終業する施設・団体が最も多い。



平日（月～金）の始業		施設・団体数
午前 8時台	…	2
午前 9時台	…	13
午前 10時台	…	12
午前 11時台	…	1
午後0時以降	…	2
午後5時以降	…	1

平日（月～金）の終業		施設・団体数
午後2時以前	…	2
午後2時台	…	1
午後3時台	…	14
午後4時台	…	5
午後5時以降	…	9

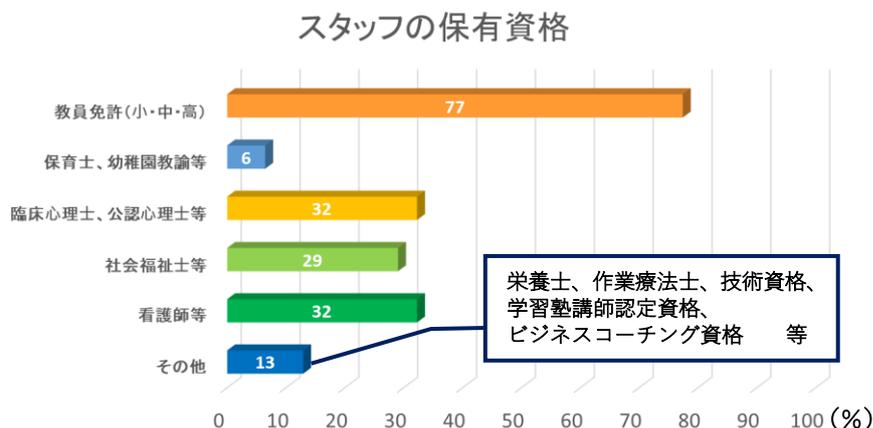
2. 在籍者数について

- ・令和5年度調査と比較して、小学生の利用人数が著しく増加している。
- ・小学生では、全学年に一定数の児童が在籍しているが、6年生の在籍者数が多い傾向が見られる。
- ・中学生では、3年生の在籍者数が多い傾向が見られる。
- ・1施設当たりの利用人数の平均は、小学生6.6人、中学生が4.9人となっている。

	小学生	中学生	計(人)
令和2年度	156	76	232
令和3年度	151	66	217
令和4年度	141	63	204
令和5年度	178	71	249
令和6年度	235	80	315

3. スタッフの状況について

- ・9割以上の施設・団体のスタッフは何らかの専門的な資格を保有している。
- ・8割弱の施設・団体で小・中・高いずれかの教員免許を保有している職員がいる。教員経験者が施設を運営しているケースもある。
- ・保育士や幼稚園教諭、心理士、社会福祉士、看護師等、専門的な資格を保有した職員が在籍している施設・団体もある。

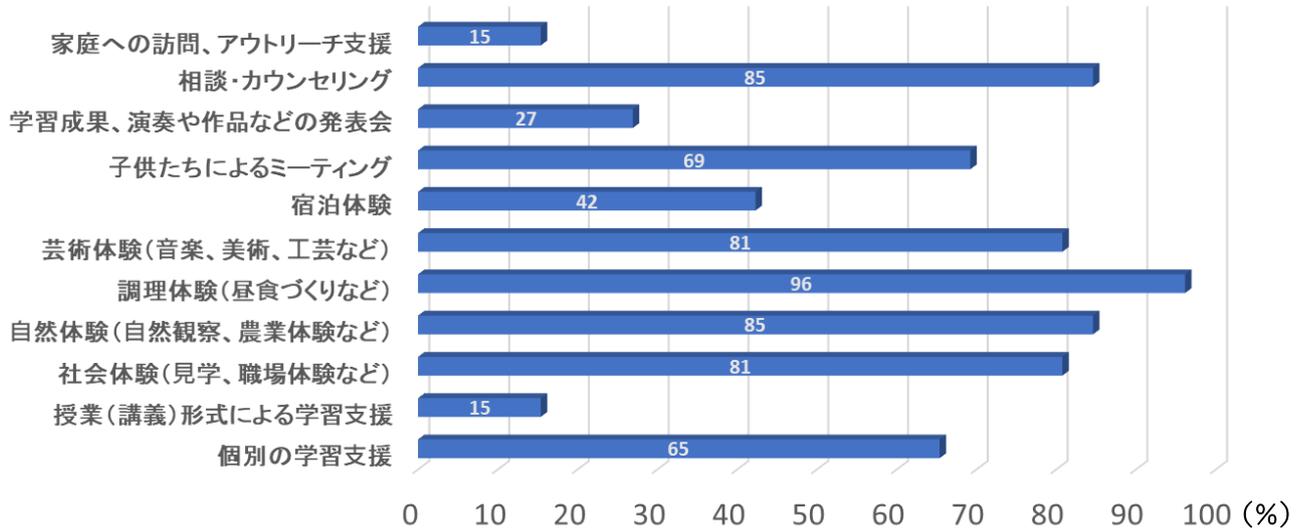


4. 活動内容等について

(1) 活動内容

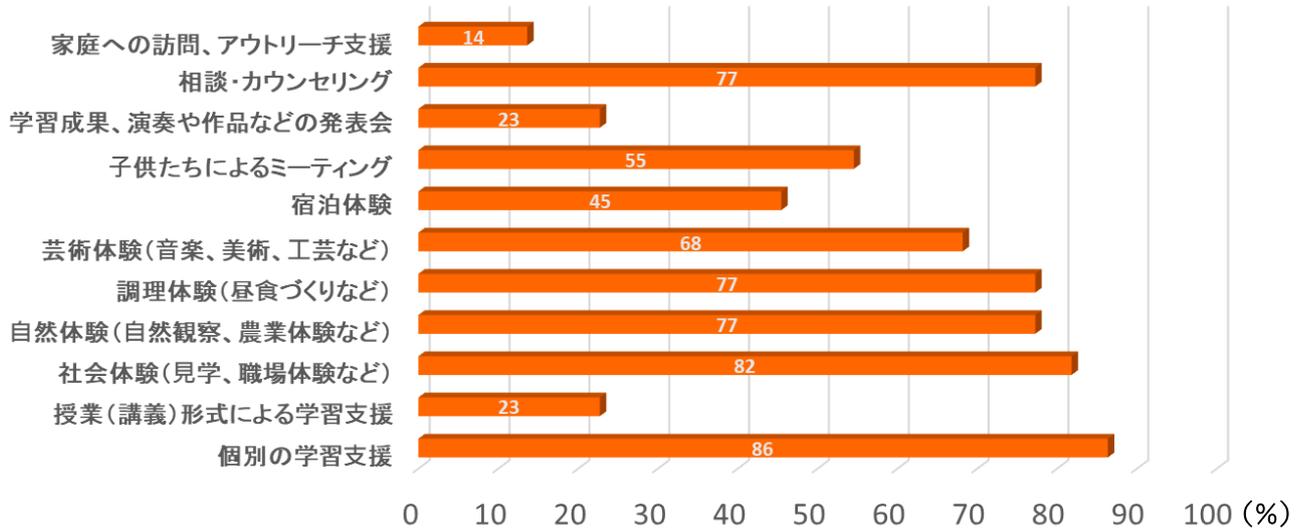
<小学生対象の活動>

おもな活動内容(小学生)



<中学生対象の活動>

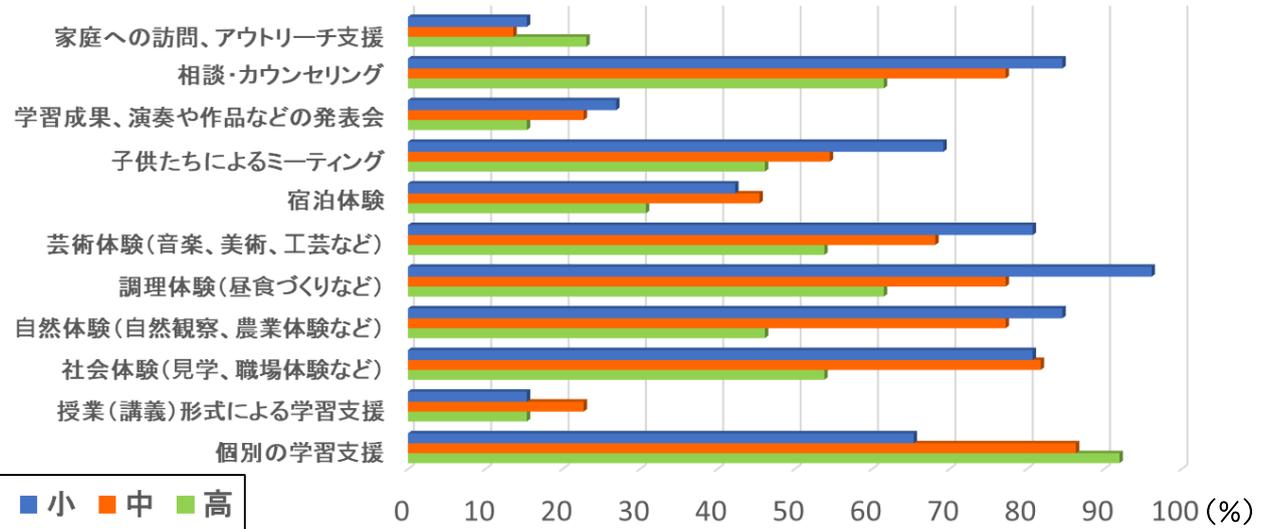
おもな活動内容(中学生)



- ・活動内容については、小学生対象と中学生対象では大きな違いは見られないが、多くの施設・団体において体験活動が実施されている。また、宿泊体験や社会体験は令和5年度調査よりも増加している。
- ・小・中どちらでも学習支援が位置付いている施設・団体が多いが、1人1人の学習状況に合わせ、授業形式ではなく、個別の学習支援を行っている施設・団体が多い。また、中学生については個別の学習支援を行っている施設・団体が令和5年度調査比で20%以上増加している。
- ・子どもたちによるミーティングや発表会などの表現活動は、令和5年度調査では小学校より中学校の方が多く行われていたが、今回調査では小学生対象施設の方が多い。
- ・子どもや保護者からの相談やカウンセリングを8割前後の施設・団体が実施しており、心のケアを重視している施設・団体が多い。

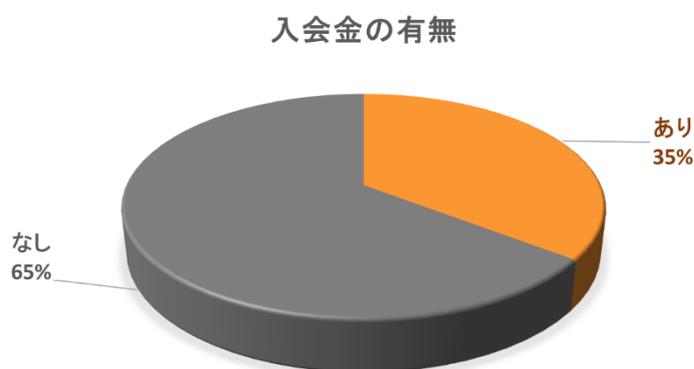
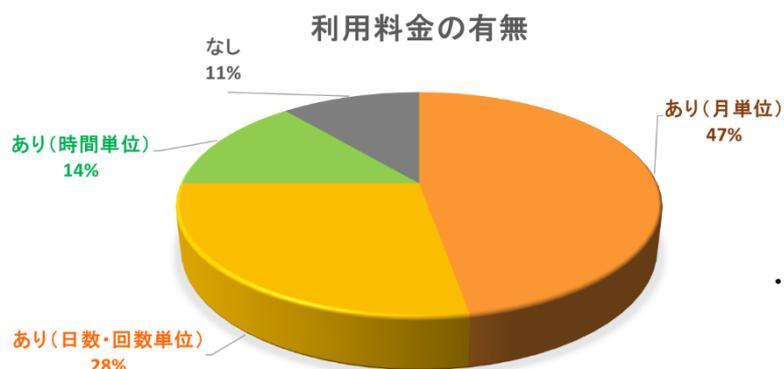
【参考】<小中高の活動内容の比較から>

おもな活動内容(小中高比較)



- ・小学生、中学生、高校生と発達が進むにつれて、体験活動から学習活動に移行する傾向が見られる。また、コミュニケーションスキル等を身に付ける活動が小学校段階で多く行われる傾向がある。
- ・子どもや保護者からの相談やカウンセリングはどの段階でも行われているが、小学校段階が、最も多く行われている。

5. 利用料金等の状況

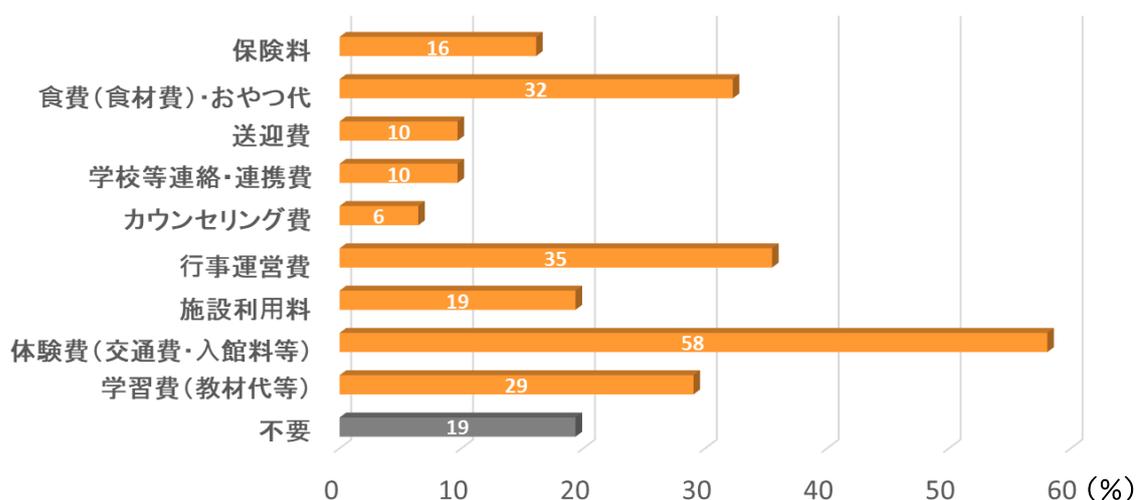


	平均	回答数
月単位	32,300円	17
回数・回数単位	2,900円	10
時間単位	1,150円	5
入会金	37,000円	11

- ・利用料については、9割近くの施設・団体で必要である。具体的な金額の回答があった施設・団体の平均は上記のとおりとなっている。
- ・月単位や利用回数(回数)単位、時間単位など、施設によって異なっている。同じ施設・団体であっても、利用コースによって料金が異なることもある。
- ・入会金については、令和5年度調査では6割程度の施設・団体で必要だったが、今回調査では入会金が不要な施設・団体が増えている。
- ・兄弟姉妹で利用している家庭に対しては、入会金の減免制度を設けている施設・団体もある。

※上記利用料や入会金の金額は、施設・団体によって幅があるため、個別の状況については、ホームページ等で確認すること。

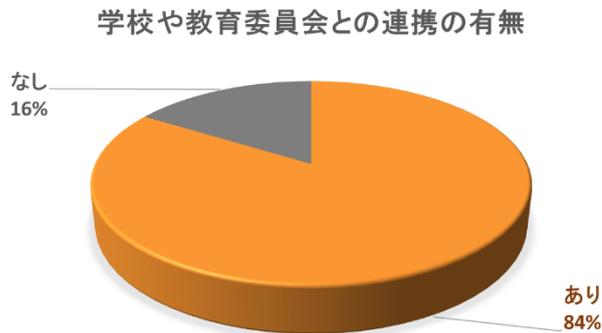
利用料金以外に必要な諸費用



- ・利用料や入会金以外に、8割程度の施設・団体では、体験にかかる費用や学習教材、食費等、上グラフのような費用が必要である。
- ・施設・団体又はスタッフが独自に作成した教材を使用している施設・団体、在籍校から提供を受けた教材を使用している施設・団体もある(訪問による聞き取り調査より)。
- ・本人の希望に応じて、教材も含めて全て個別対応をしている施設や、日常の全てが教材で学びにつながるという視点から、特に教材を準備していないところもある。

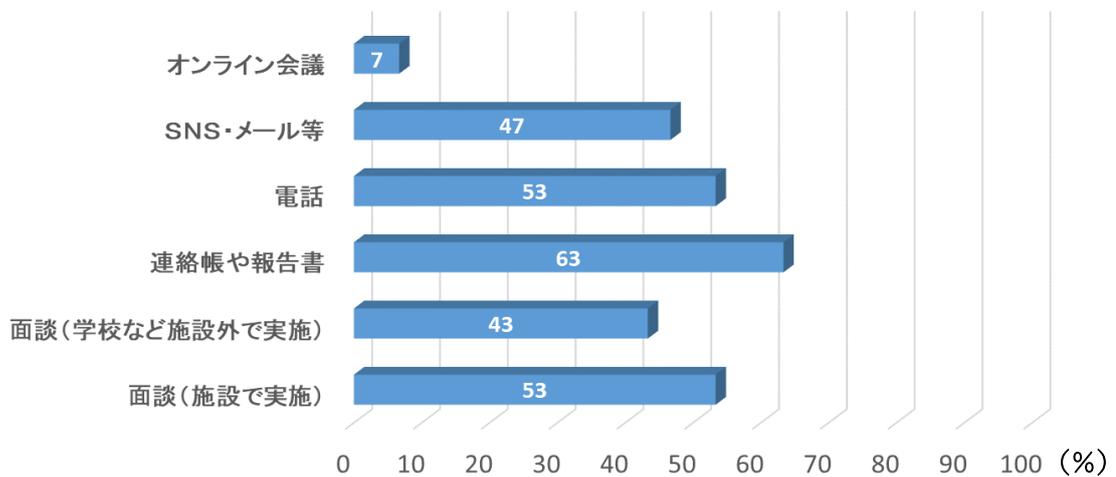
6. 各種連携の状況

(1) 在籍校や教育委員会との連携・連絡について



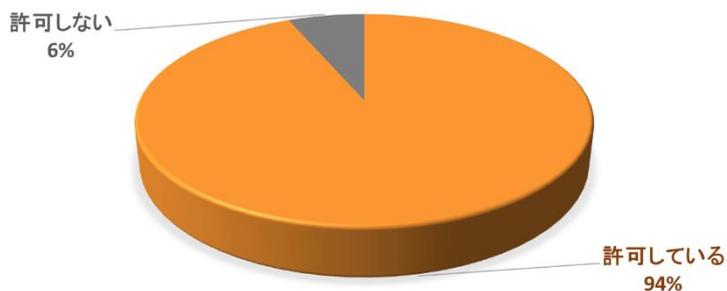
連携・連絡頻度	施設・団体数
毎月1回以上	19
学期に数回程度	2
学期に1回程度	2
年に1回程度	3
連携なし	5

学校・教育委員会との連絡方法



- ・在籍校や教育委員会との連携・連絡はほぼ全ての施設・団体で行われていた令和5年度調査と比べて、1割程度減少している。
- ・在籍校や教育委員会との連携・連絡を行っている施設・団体のうち、半数以上は毎月1回以上の連絡が行われている。
- ・在籍校や教育委員会との連絡方法は多様であり、施設内外合わせて報告書が最も多く、次いで面談や電話となっている。

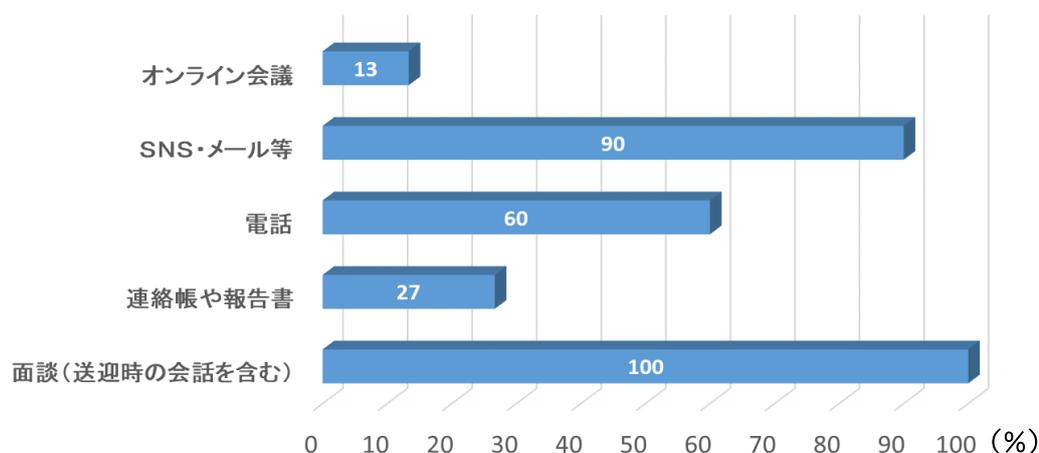
在籍校と施設の併用について



- ・在籍校と施設の併用（例：ある曜日は在籍校に通う、その他の曜日はフリースクール等の施設に通う）について、9割以上の施設・団体で許可されている。
- ・一方、在籍校と施設・団体の考え方や支援内容の違いから、利用する子どもたちが混乱しないよう、許可しないと回答した施設・団体もある。

(2) 家庭との連絡について

家庭との連絡方法

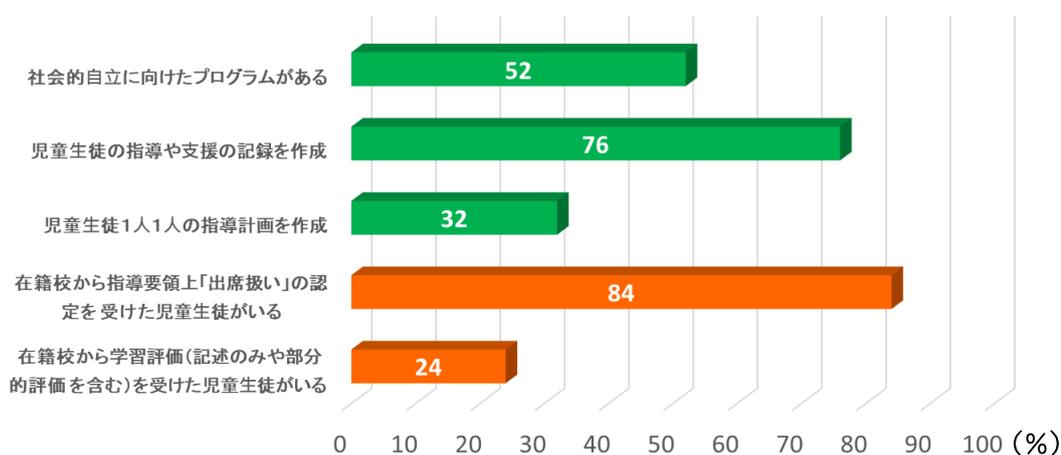


- ・家庭との連絡は、子どもたちの送迎時の会話や、SNS・メール等で行われることが多い。
- ・上記により、連絡の頻度は毎日(毎回)の施設・団体が最も多く、ほとんどの施設・団体は少なくとも週に1回以上保護者と関わっている。
- ・中には学期に数回程度「親の会」を開催し、情報を交流したり、施設運営について意見交換したりしているところもある。

7. その他特筆すべき点について

(1) 子どもたちへの支援、在籍校等との連携について

支援や連携の特色



- ・子どもたちの社会的自立に向けたプログラムがある施設・団体が令和5年度調査と比べて15%程度増加した。個別の指導計画を作成して支援に当たっている施設・団体も増加した。
- ・子どもたちへの指導や支援の記録を作成している施設・団体は令和5年度調査と比べて1.5倍の76%にのぼる。
- ・フリースクール等の施設・団体を利用する子どもたちが在籍校から指導要録上「出席扱い」の認定を受けていると回答した施設・団体も15%程度増加し、全体の84%となっている。また、在籍校から記述や部分的評価も含む何らかの学習評価を受けた事例も若干であるが増加している。在籍校の教職員が施設を訪れて子どもたちの活動の様子を参観したことで指導要録上「出席扱い」となった事例や、在籍校が実施する定期テストをフリースクール等で受験し、学習評価につながった事例も引き続き報告されている。

(2) 支援や連携の好事例について (※自由記述・一部抜粋)

<支援について>

- ・問題点に焦点を当てるのではなく、成長面に焦点を当てた事項を共有することで、家庭・在籍校・フリースクールが喜びを分かち合いながら生徒の成長を見守っています。
- ・2年生から学校に通えませんでした。4年生で放課後等デイサービスの利用を開始しました。安心できる居場所の提供や保護者へのカウンセリングを経て、「勉強してみようかな」と希望が芽生え、個別の学習支援で学ぶうちに自信を回復しました。6年生になり相談室登校を始め、それをきっかけに月1回在籍校と情報共有を実施しました。4月からは学びの多様化学校へ入学します。
- ・在籍校から教科書や課題を預かり、デイケアで一緒に取り組んでいます。
- ・繊細なお子さんが多いので、家庭での声かけマニュアルを紹介しています。夜でもメールやSNS等でやり取りし、相談に乗るようにした結果、立ち直って笑顔を取り戻してくれたお子さんがいます。

<連携について>

- ・中学3年生の進路選択に関する内容は、特に密に連携をとっています。周囲の大人たち皆で伴走することにより、全ての受験生が高校進学を果たしています。また、高校生になってからも関わりを続け、その後の進路も見守っています。
- ・学校連携を密に行い、施設での定期テスト受験・成績付与、交換ノートによる保護者・担任・校長・フリースクール代表との4者連携などが実現しました。
- ・学校のコーディネーターと頻りに連絡を取り合い、学校復帰後の、学校での対応の仕方等をサポートしたことで完全に学校に復帰することができました。
- ・子どもの安心できる居場所が一つでも多くあることを大切に活動しています。ほぼ全ての子どもが在籍校と連携が取れており、こちらで過ごす様子を伝えることができています。中には週2、3回在籍校に通っている子もいるので、在籍校からも様子を聞きたいと願っています。
- ・在籍校との話合いで母親の心理カウンセリングを提案したところ実施され、保護者の気持ちが落ち着き、事態が好転してきています。また、学習をすべきか迷っていたところ、「それは学校でやります」と言っただき、安心して学校にお任せできています。また、学校へのお迎え時間が変動する子に対して、連絡を密に取り送迎したことで保護者は仕事を休まずに続けられています。
- ・フリースクールを利用している子どもの在籍校の校長先生、市町村教育員会の担当者が当フリースクールに見学に来ていただき、子どもたちの学習や活動の状況を知っていただく機会があり、今後の連携の在り方について学校ごとに協議、話し合いをしながら進めています。その際、学校の先生方の負担増にならないようにも配慮しています。
- ・スクールに通いだしてから、在籍校の先生方とも面談を繰り返し、スクールでの様子を先生方と共有してきました。学校復帰の大きな要因として、中学校の特別支援級の中に当スクールでの活動写真を掲示してくださるなど、当スクールでの活動を認め、共有してくださったおかげだと感じています。

【本調査に協力いただいた岐阜県内の義務教育段階の子どもが通うフリースクール等民間施設・団体】

<岐阜県内>

- ・フリースクール ユニーク！ / NPO 法人 教育・地域交流機構（岐阜市）
- ・人と学ぶ場ふらっと / NPO 法人 えん（岐阜市）
- ・あいぎふ・自由学校（岐阜市）
- ・放課後等デイサービス みちな・放課後等デイサービス みちなキッズ・Imaru 個別指導塾
クリエイターズクラブ・探究型学童保育 ヒトノネ / 一般社団法人 ヒトノネ（岐阜市）
- ・秘密戦隊 BIGMAHALO（岐阜市）
- ・岐阜市民病院 精神科デイケアセンター 児童・思春期デイケア こらっじょ（岐阜市）
- ・放課後等デイサービス たいしのいえ（岐阜市）
- ・こども居場所支援 ルルマル（岐阜市）
- ・トライ式高等学院・トライ式中等部 岐阜キャンパス（岐阜市）
- ・BE SCHOOL 岐阜校（岐阜市）
- ・みんなの学び舎 ことのは / 一般社団法人 まなびのとびら岐阜羽島きょういくラボ（羽島市）
- ・フリースクール どんぐり / NPO 法人 つむぎの森（各務原市）
- ・オルタナティブスクール 学び舎いっふう / 合同会社あめつち（各務原市）
- ・放課後等デイサービス 虹の森 / 株式会社 サーバント（本巣市）
- ・BE SCHOOL 大垣校（大垣市）
- ・平日にある子どもの居場所「おおきなて」（神戸町）
- ・根尾川むいむいの森ユースセンター / 一般社団法人 よだか総合研究所（揖斐川町）
- ・お休み学園（揖斐川町）
- ・フリースクール あまごクラブ（郡上市）
- ・明蓬館中等部 可茂自悠学舎 / 株式会社 サーバント（美濃加茂市）
- ・フリースクール 寺子屋じゃあさ / NPO 法人じゃあさアカデミー（七宗町）
- ・MORIWARA 大地組スクール / 一般社団法人 MORIWARA 自然育児 森のわらべ多治見園（多治見市）
- ・ひふみ学園 / ひふみコーチ株式会社（恵那市）
- ・中津川市民立小中一貫校 花咲学園（中津川市）
- ・そら風スクール / NPO 法人 風の時代の学校（高山市）
- ・こどもの基地ねこのひげ / 一般社団法人 もちもちびと（高山市）

<岐阜県外>

- ・学校法人角川ドワンゴ学園 N 中等部（通学コース：愛知県／ネットコース：全国）
- ・オルタナティブスクール すだち（愛知県）
- ・NPO 法人フリースクール てだのふあ（滋賀県）

岐阜県内の義務教育段階の子どもが通う民間施設・団体（フリースクール等）
に関する調査結果（令和7年1月末現在）

令和7年2月25日発行

<発行> 岐阜県教育委員会義務教育課

〒500-8570 岐阜県岐阜市藪田南2-1-1

TEL 058-272-1111（代表）